

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 児童通所支援事業所 はんざわ体操クラブ

公表日 令和 8年 3月 30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	活動によっては密集してしまうこともある為、空間を分けて活動を促すなどの工夫をしています。	体育館内は段差が多い為、怪我に注意し声掛けや危ないところにはマット等を敷いて対応しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	規定の人数を配置しています。日によって個別での支援が必要な児童が数人いる場面があるため、配置を工夫している。	職員間で連携を図り、安全に活動できる環境を作っているよう整備します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	玄関にはスロープがあり、デイルーム内には段差がないようにしています。棚の角などぶつける危険性がある個所にはクッションをつけて対策をしています。	スロープも階段もあり、滑りやすい時等には声掛けなどをして注意を呼び掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	ログハウスの使用やスペースを使用内容に分けて利用しています。おもちゃで遊ぶ場所、ハサミや鉛筆を使う場所など分けて活動できるようにしています。	こまめに清掃を行うことを徹底します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	メインで使用しているデイルームと他にログハウスがある為、必要に応じて移動・使用ができています。	クールダウン時に使用する部屋がないためスペースを区切って使用しています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	3	申し送りや職員ノート等も活用しながら振り返り等を行い、参加が難しい職員も会議録等で確認できるようにしています。	伝達事項については、周知が徹底されるようにしていくとともに職員での話し合いを行っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	年度に一度アンケートを実施しています。	評価表でいただいたご意向、ご意見について話し合いをして改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	職員同士で話し合う時間を作ったり、対策や改善についても話し合うことができています。	非常勤の職員からの意見も聞きながら、よりよい支援につなげるよう努めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8	現在は実施しておりません。	今後は外部評価を行い、参考にしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	3	外部研修について職員に周知し、参加を促しています。また参加した研修については、他職員にも回覧したり、資料を保管し、いつでも見れるようにしています。	様々な研修に参加できるよう体制を整えたり、参加する人が偏らないように工夫していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	ホームページで公表しています。	適切な支援プログラムになるよう、定期的に見直し等を行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	保護者やニーズに応じて関係機関からも聞き取りを行い、作成しています。	保護者からのニーズをより詳しく聞き取り、適切な支援計画書の作成に努めています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	様々な職員から聞き取りをしたり会議を行い、支援計画書の作成を行っています。	今後も様々な職員からの意見を聞き取り、支援計画書の作成に努めています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	計画の内容、そのほか保護者の困り事や気になっている点など、面談時の内容についても職員全体で共有することが出来ています。	職員間での共有を徹底し、計画的な支援につなげていけるよう努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	標準なツールを使用するとともに必要に応じて改善を図っています。	日々の児童の状況を観察し、インフォーマルなアセスメントを積み重ねながら確認していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	新しい個別支援計画書に様式を変更し、児童に合わせて目標などを設定することができています。また、体操教室に参加している児童に対してはその内容も話し合い、課題に合わせて支援内容とサービスの提供を行っています。	一人一人の保護者への説明もより具体的に行っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	8	職員で話し合いながら、活動プログラムを作成しています。	児童が興味のある運動や遊びを聞き、楽しみながら活動できるようなプログラムを取り入れていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	3	基本的には同じ流れで活動していますが可能な場合に工夫した内容を取り入れています。屋外での活動や季節やイベント等に関連付けた内容を行っています。	季節に合わせた屋外活動などを今後も積極的に取り入れていきます。集団での遊びや、事業所外での活動も取り入れていけるよう、今後検討していきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	集団活動が主な活動ではありませんが、場面によっては個別の活動も取り入れながら行っています。	空間を分けながら、児童たちが個別活動と集団活動を選択して行えるよう支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	4	送迎やその日の流れ、支援内容について確認をしています。送迎に行く際の注意点なども行うことができています。	連絡ノートでの引き継ぎ等も含めて、職員全員でその日の支援の内容や児童たちの様子について確認していけるよう徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	5	職員間の共有ノートで情報を確認できるようにしています。また特記事項や保護者への連絡が必要な内容については話し合いを行い共有しています。	気になった点や改善できるところを話し合い、職員間での共有、支援内容の改善に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	具体的な記録を残し、職員間で共有しています。	特記事項があるときには職員ノートも活用し、職員への周知、支援の改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2	職員での会議を行い、見直しが必要であるかの判断を行っています。	様々な職員からの意見を参考に、見直しの必要があるか検討するとともに、見直しがある場合には保護者への説明等も十分に行っていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	2	児童発達支援管理責任者が参画しています。	参加が難しい場合には資料などを提出したり、電話等でお伝えしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	医師からの指示書を共有したり、病院での訓練の記録などをいただき、職員で周知しています。	必要に応じて対応できるようにしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	相談支援コーディネーターと利用状況や支援の内容等を共有したり、必要に応じて情報提供を行っています。	児童の様子について電話や施設見学などで情報の共有に努めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2	支援内容や活動の記録を参考資料として小学校にお渡ししています。	今後も必要に応じて対応していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	4	必要に応じて助言をいただいています。	今後必要に応じて連携を図っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	体操教室への参加を促し、交流を図っています。また地域で行われる行事に参加しています。	体操教室への参加の中でデイサービス以外の児童とのかかわりを持つことができるよう促していきます。今後も地域で行われるイベントなどへの参加を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	連絡ノートを活用したり送迎時などに児童の様子等をお伝えしています。	関係機関での様子等も聞きながら、児童の状況について共通理解を深めていけるように継続して行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	7	家庭の状況なども考え、要望に応じて保護者に対して助言等を行っています。	相談しやすい環境を整えています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	3	契約時に説明を行っています。	保護者に伝わりやすいよう具体的な説明を心がけていきます。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	2	アセスメント、モニタリングをもとに保護者と面談を行い、支援計画書を作成しています。	面談の際により細かく家庭や児童の意向を確認し支援計画書の作成に反映させていけるよう努めます。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	2	ご確認いただいた上で同意を得ています。	保護者に伝わりやすいよう具体的な説明を心がけていきます。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	2	連絡ノートや送迎の際にお話を聞き、希望する方には電話などでも面談の時間を設けています。	今後も保護者からの要望を聞き、面談の機会を設けたり、助言等行っていきます。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	6	現在は実施しておりません。	今後、保護者の要望も聞きながら検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	2	相談等についてはその都度対応することができています。	相談や申し入れなどがあった場合には適切な対応をしていくとともに体制の整備を強化していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	4	定期的には行っていませんが、行事の予定があった際にはお知らせをしています。	定期的には行うことができていないため、ホームページなどを活用し発信方法を検討して行きます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1	十分に注意しています。	利用者の個人情報については、厳重に管理していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	2	連絡ノートで日々の様子をお伝えしたり、送迎時や面談時にお話する時間を設けています。	体育館での様子や器具を使つての運動については言葉だけでは伝わらない事も考えられる為、見学等もできることを伝えていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8	第一生命と当事業所のコラボ企画を行い、地域の方を招待する機会を作ることができました。	今後継続的に地域の方も参加できるような行事を検討していくとともに情報を収集していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	各種マニュアルは全て策定しています。	定期的に各種マニュアルの見直しを行っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2	策定しています。	今後も研修や避難訓練を定期的に行っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	服薬がある場合には、医師からの指示書をもとに職員間で共有し、対応しています。	利用開始時や年度の初めに保護者からの聞き取りを行い、注意すべき点を把握できるようにしています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	症状が重いアレルギーを持っている児童は、こちらで食事提供せず持参していただいています。おやつ提供もしているので、必要な児童については指示書をいただいています。現在、必要な児童はおりません。	必要に応じて医師の指示書をもとに対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3	安全計画は作成しています 安全管理については十分気を付けています	安全計画に沿って、管理や訓練を強化していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	4	安全強化に努めています。	・安全計画に基づく取り組み内容をご家族様へ周知し、ご理解を得た上で安全確保に努め、活動していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	ヒヤリハットの事例集のファイルを作成しています。	職員全員が把握できるよう記載の仕方も検討しながら、再発防止に努めていきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	毎年職員全員で研修を行っています。 虐待防止委員会の開催、虐待防止に関するチェックリストを活用し、虐待防止に努めています。	職員全体が心がけていきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	3	研修等で身体拘束に対する理解をしています。 手をつないでの移動や、抱っこ等を行うことがあることなど契約時に説明を行っています。	身体拘束に対して職員が理解を持って支援に当たるよう努めていきます。	